

2025年3月期（2024年度）決算説明会

2025年5月12日（月）

目次

1. 2025年3月期（2024年度）実績
2. 2025年度 業績予想
3. 事業別の概況
4. 中期経営計画の進捗状況
5. トピックス

1. 2025年3月期(2024年度) 実績

A horizontal decorative bar featuring a repeating pattern of blue squares and triangles in various shades of blue, creating a modern, geometric look.

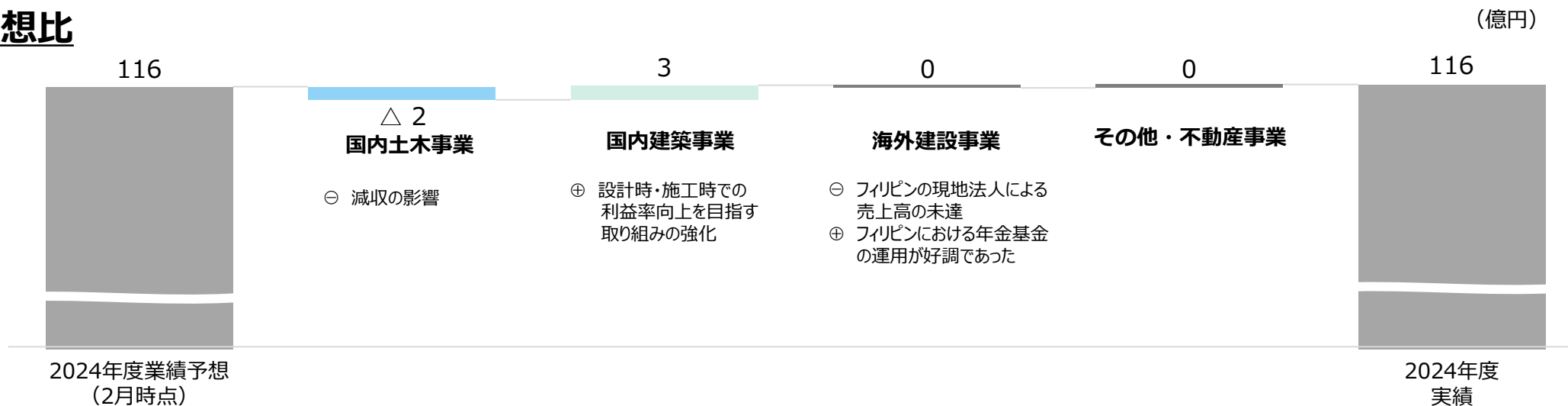
1 2024年度通期 業績サマリー

前回予想比で、営業利益は達成、1株あたり利益は増加し、増配を実現

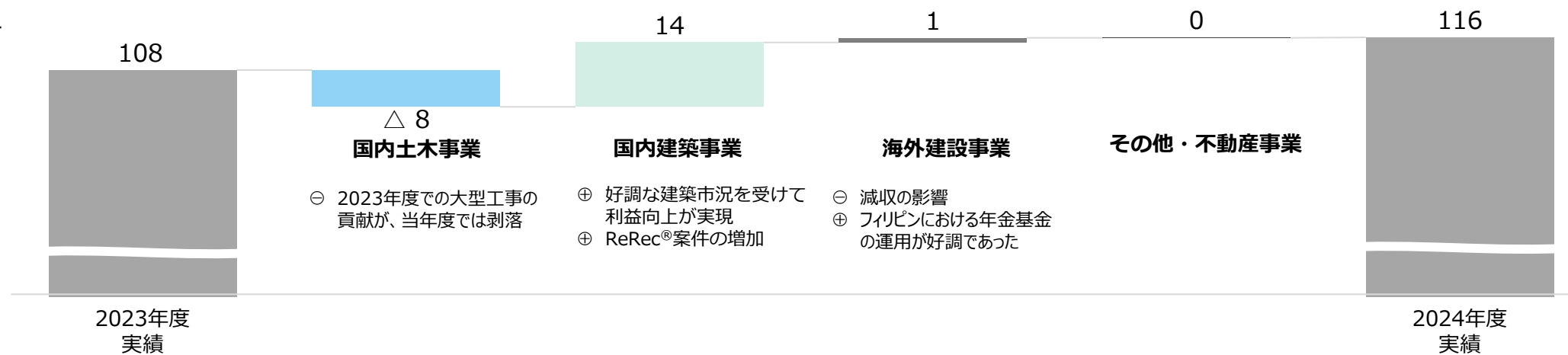
		2月時点予想比	前年比	変動要因
売上高	1,726 億円	△ 93 億円 △ 5.2 %	△ 141 億円 △ 7.6 %	前回予想比 ■ 営業利益は完成工事粗利率の上昇分が売上高の減少を補い、達成。販管費は想定通り。セグメントでは国内建築が貢献 ■ 売上高は、全セグメントで4Qに大きく進捗したが、前回予想比では未達。海外はODA案件が進捗した一方で在フィリピン子会社が未達。国内建築は建物仕様に施主様ご意向を反映させるため翌期の着工となった一部案件の影響を受けた。国内土木は4Qに予定通り大型の設計変更案件が取れてインライン近くまで進捗した ■ 土地、船舶など固定資産の売却益が純利益に貢献 ■ 受注高は2,273億円となり、予想を上回った
営業利益	116 億円	0 億円 + 0.4 %	+ 7 億円 + 7.0 %	
親会社株主に 帰属する純利益	83 億円	+ 7 億円 + 9.4 %	+ 12 億円 + 18.5 %	
1株あたり利益	88.49 円	+ 7.58 円 + 9.4 %	+ 13.98 円 + 18.8 %	
年間配当金 (予定)	88 円	+ 8 円 + 10.0 %	+ 14 円 + 18.9 %	前年比 ■ 営業利益は増益。国内建築が大きく貢献 ■ 売上高は減収。全セグメントが減収 ■ 純利益は、営業利益の増益および土地、船舶、投資有価証券等の資産売却益により、+12億円の増益 ■ 受注高は前年を大幅に上回った
受注高	2,273 億円	+ 78 億円 + 3.6 %	+ 559 億円 + 32.6 %	

営業利益 セグメント別変動要因

前回予想比

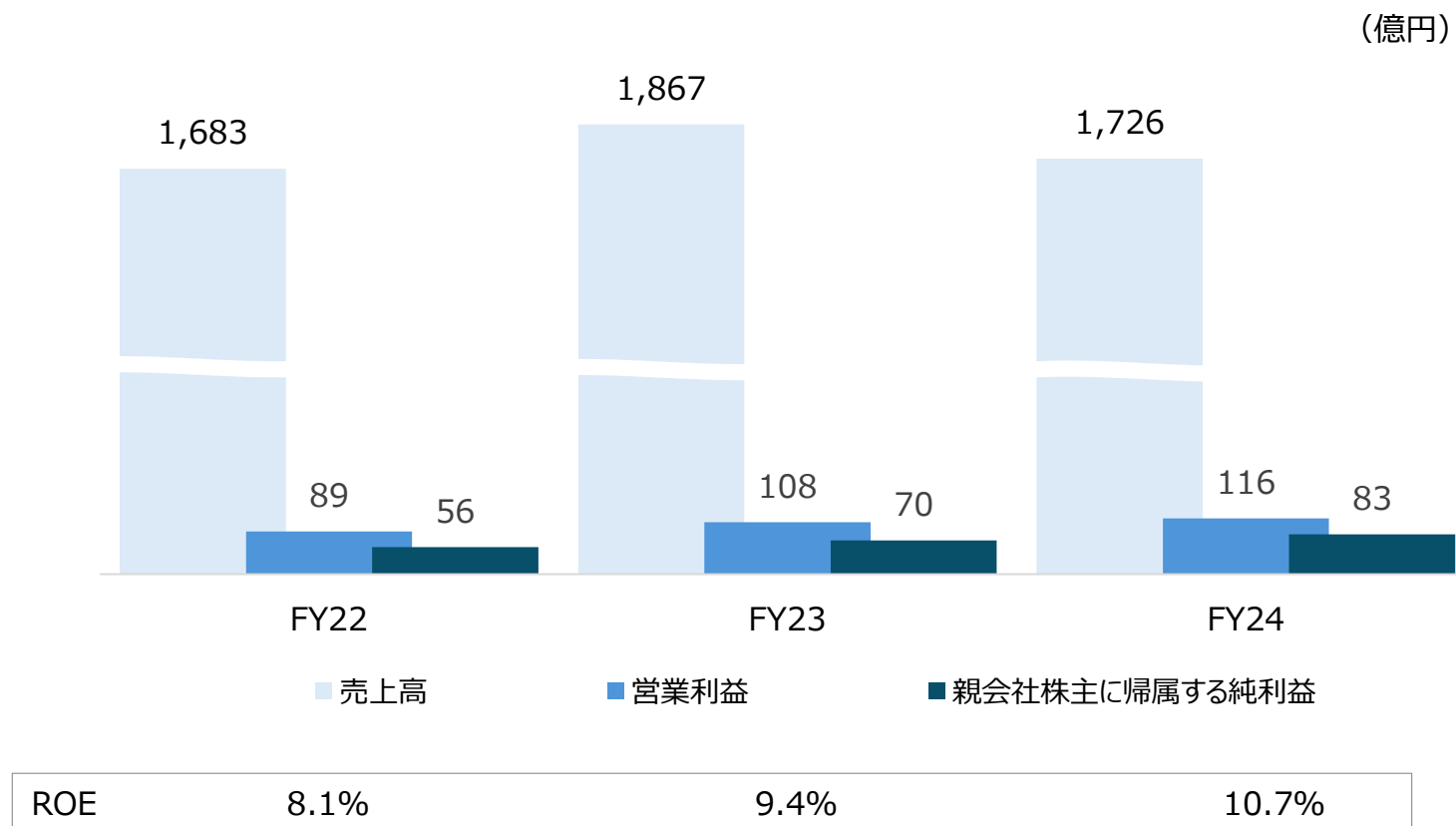


前年比



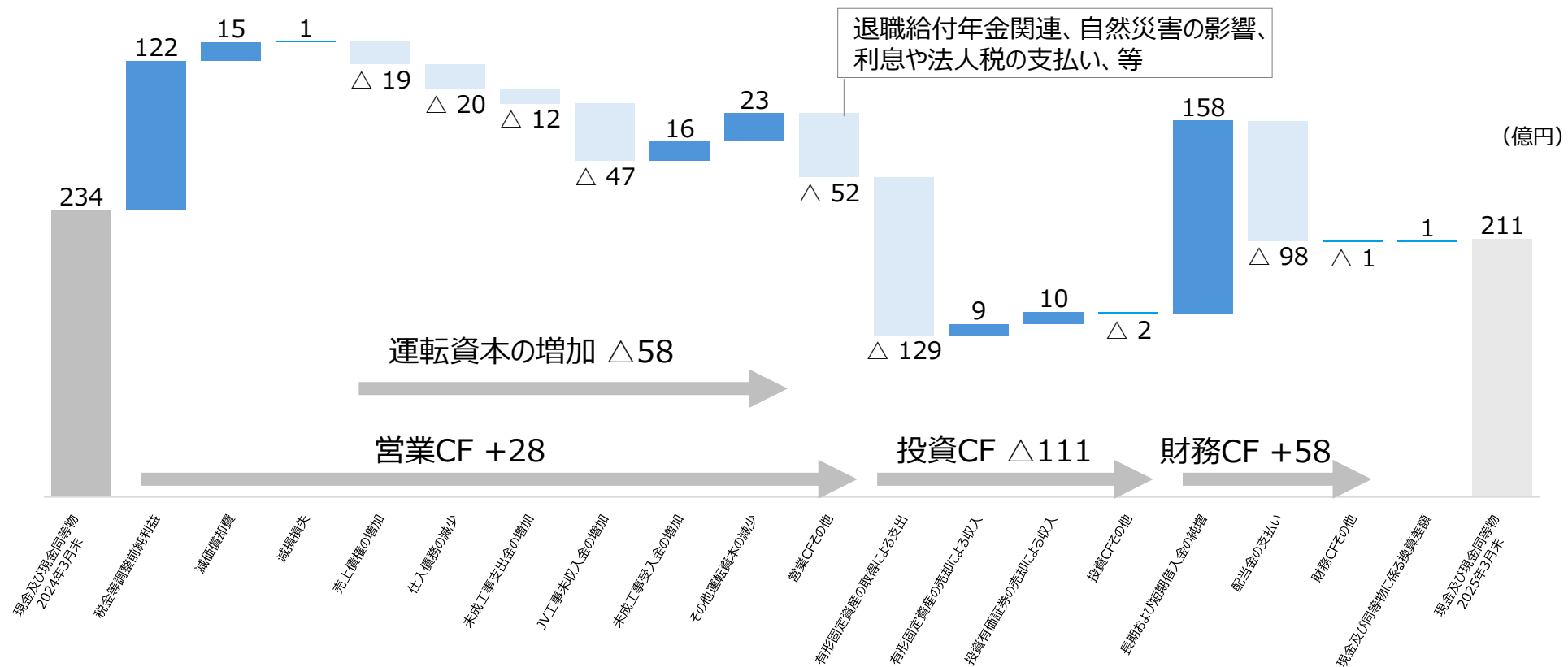
売上高・営業利益・純利益・自己資本利益率ROEの推移

- 資材費・人件費が上昇する環境下、施主様のご要望と予算をしっかりと伺い、設計と施工に丁寧に反映
- 需要旺盛の事業環境下、優良案件への注力と入札・受注時における採算判断が出来ている
- 結果、利益の着実な上昇が続いている



キャッシュフロー

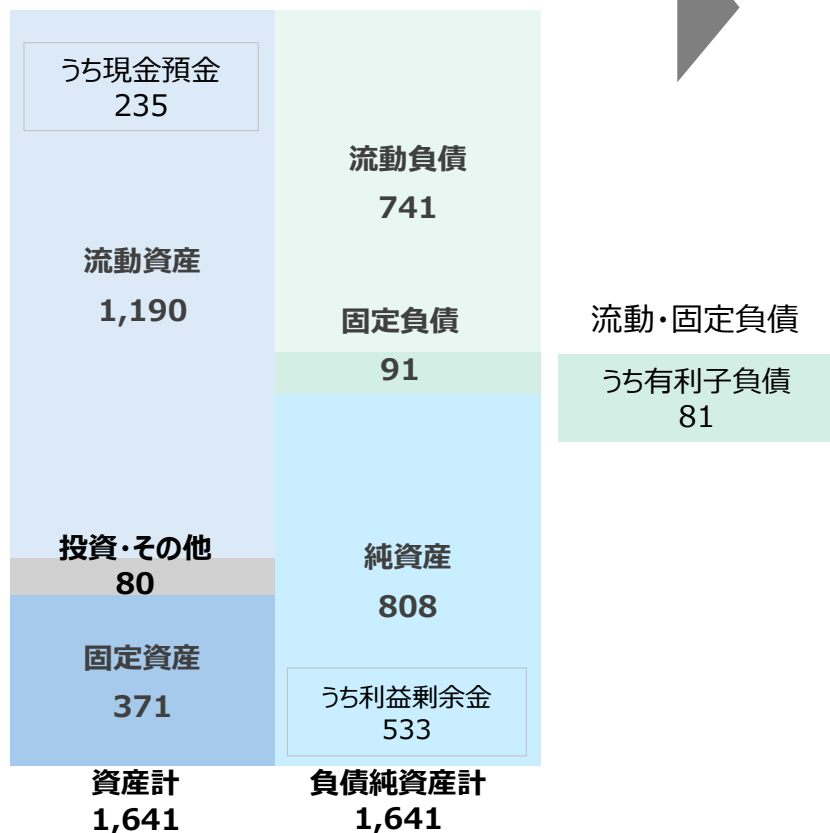
- 営業CFは+28億円。この内、運転資本の増加分は△58億円
- 投資CF△111億円の主な内訳：
 - ケーブル敷設船の設備投資など有形固定資産の取得 $\triangle 129$ 億円
 - 有形固定資産(土地、船舶)および投資有価証券の売却による収入 +19億円
- 財務CFは、借入金増加と配当金の支払いにより、+58億円となった



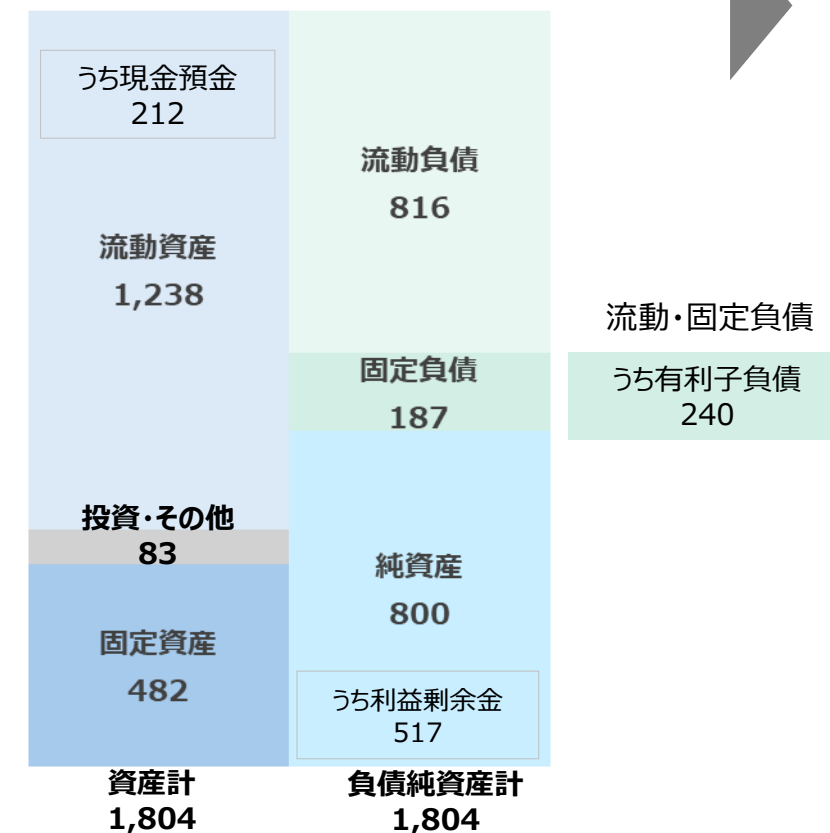
貸借対照表

- 主にケーブル敷設船への投資¹により固定資産は111億円増加。加えて運転資本確保のため、流動負債を含む有利子負債は159億円増加
- 純資産は、純利益83億円を計上するも、23年度および24年度中間の配当金支払い合計98億円があり、8億円減少
- 財務健全性を示すD/Eレシオ 0.4を維持しての資金調達余力は約80億円。更に、D/Eレシオ1.0までの借入は可能

2024年3月末 (億円)



2025年3月末 (億円)



財務規律

健全性

- D/Eレシオ 0.4以下
- 自己資本比率 40%

資金調達余力

- D/E 0.4以下を維持で約80億円
- D/E 1.0までの借入は可能

¹ 本件の投資総額は300億円

2. 2025年度 業績予想

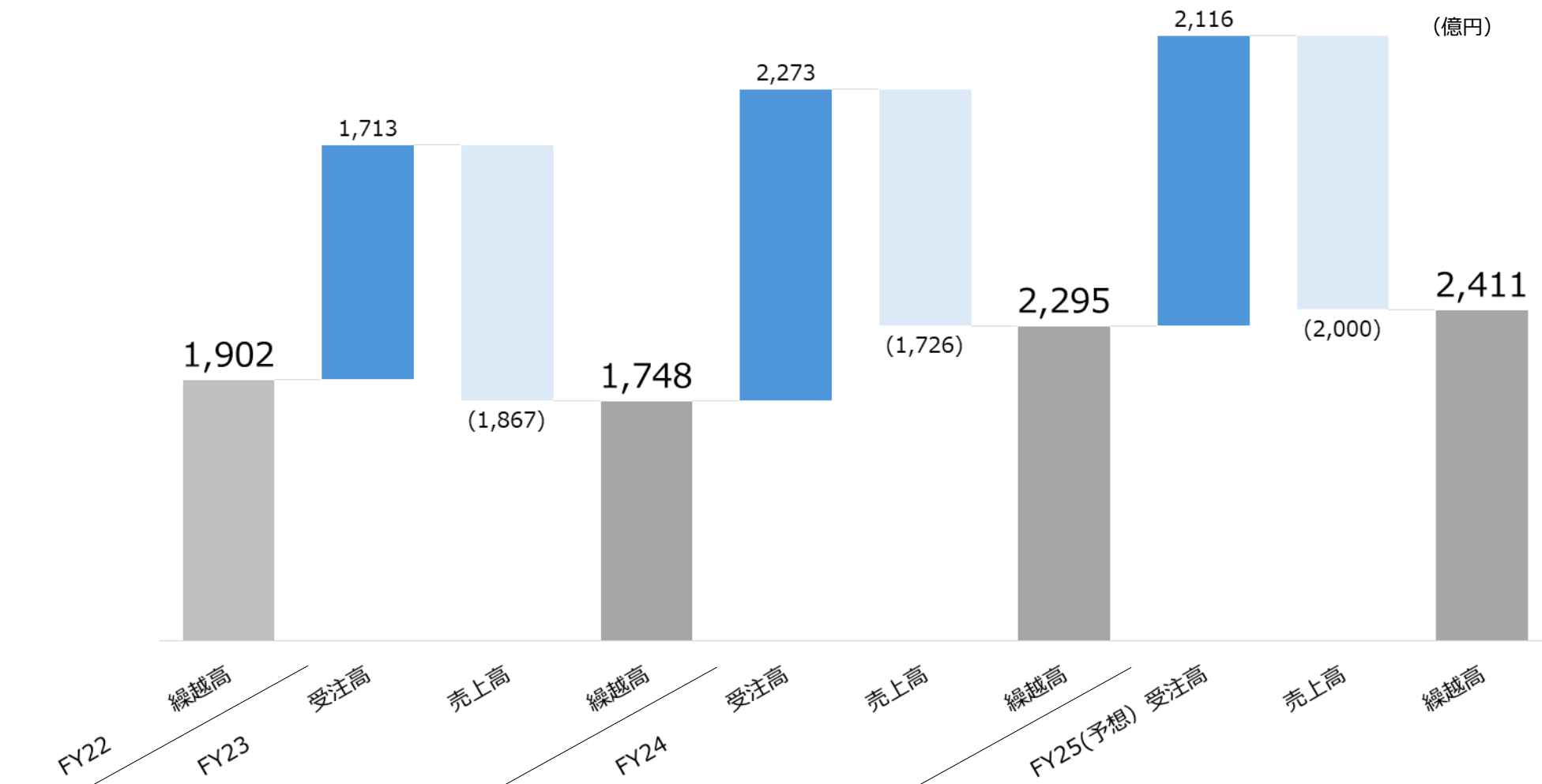
A horizontal decorative bar featuring a repeating pattern of blue squares and triangles in various shades of blue, creating a modern, geometric look.

前年比で大幅増収、洋上風力建設事業への先行投資と給与引上げを吸収しての増益、増配を予定

		前年比	変動要因
売上高	2,000 億円	+ 273 億円 + 15.9 %	前年比 ■ 売上高は、前年度末繰越高の進捗により、大幅増収を見込む
営業利益	120 億円	+ 3 億円 + 3.0 %	■ 営業利益は、洋上風力建設事業への先行投資および給与引上げ等により 販管費が増加するが、増収の好影響があり、増益を見込む
親会社株主に 帰属する純利益	85 億円	+ 1 億円 + 2.3 %	■ 一株当たり利益は90.50円を見込む
1株あたり利益	90.50 円	+ 2.01 円 + 2.3 %	■ 配当予想は、中間期30円、期末60円、年間90円
年間配当金 (予想)	90 円	+ 2 円 + 2.3 %	■ 受注高は2,100億円を超える水準を維持するも、前年比では減少を見込む
受注高	2,116 億円	△ 157 億円 △ 6.9 %	

2 繰越高・受注高・売上高の推移

受注高・繰越高が拡大基調にあり、売上高成長が期待できる



ROIC を経営指標の根幹に加える

■ 2025年度より開始

■ 算定法

- ROIC (%) = 税引後営業利益 ÷ 投下資本 [純資産 + 有利子負債]
- 貸借対照表を持たない事業本部における投下資本 = 運転資本 [流動資産 - 流動負債] + 固定資産 + 投資その他の資産

■ 投下資本観点での重点施策（営業利益を増やす目線は従前通り）

土木事業（国内・海外）：契約時の支払条件等の改善、船舶の保有価値の評価

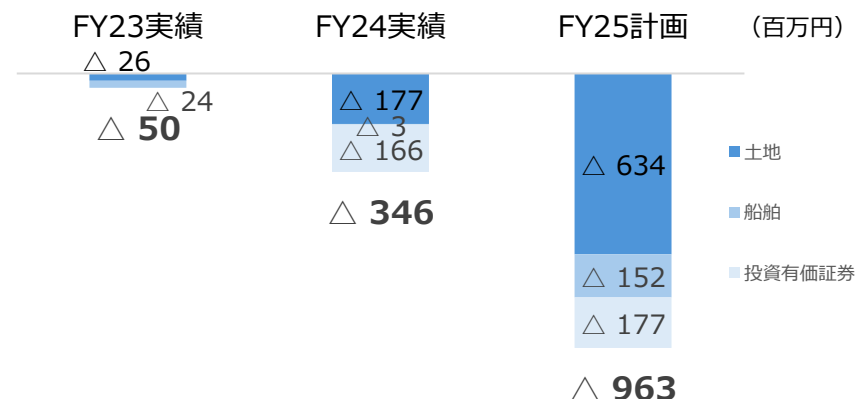
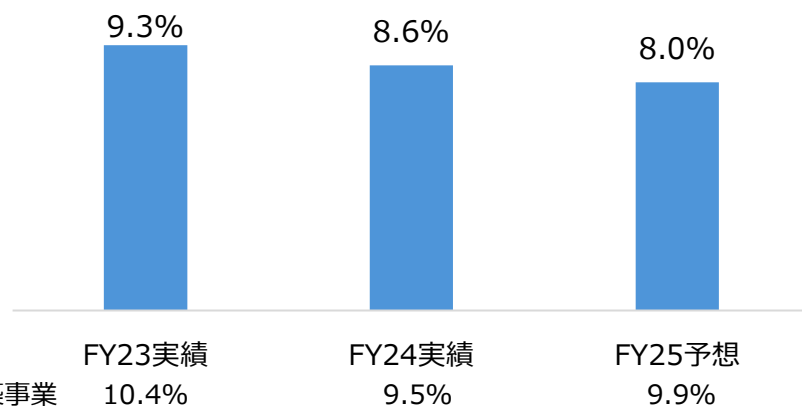
建築事業（国内・海外）：立替・資本コストを計算し支払条件等を改善

洋上風力建設事業：成長分野であるため将来において活用

コーポレート部門：WACCを上回るROICを生まない資産・事業の見直し、ROIC達成度の報酬制度への組み込み着手

■ 年度ROICの推移

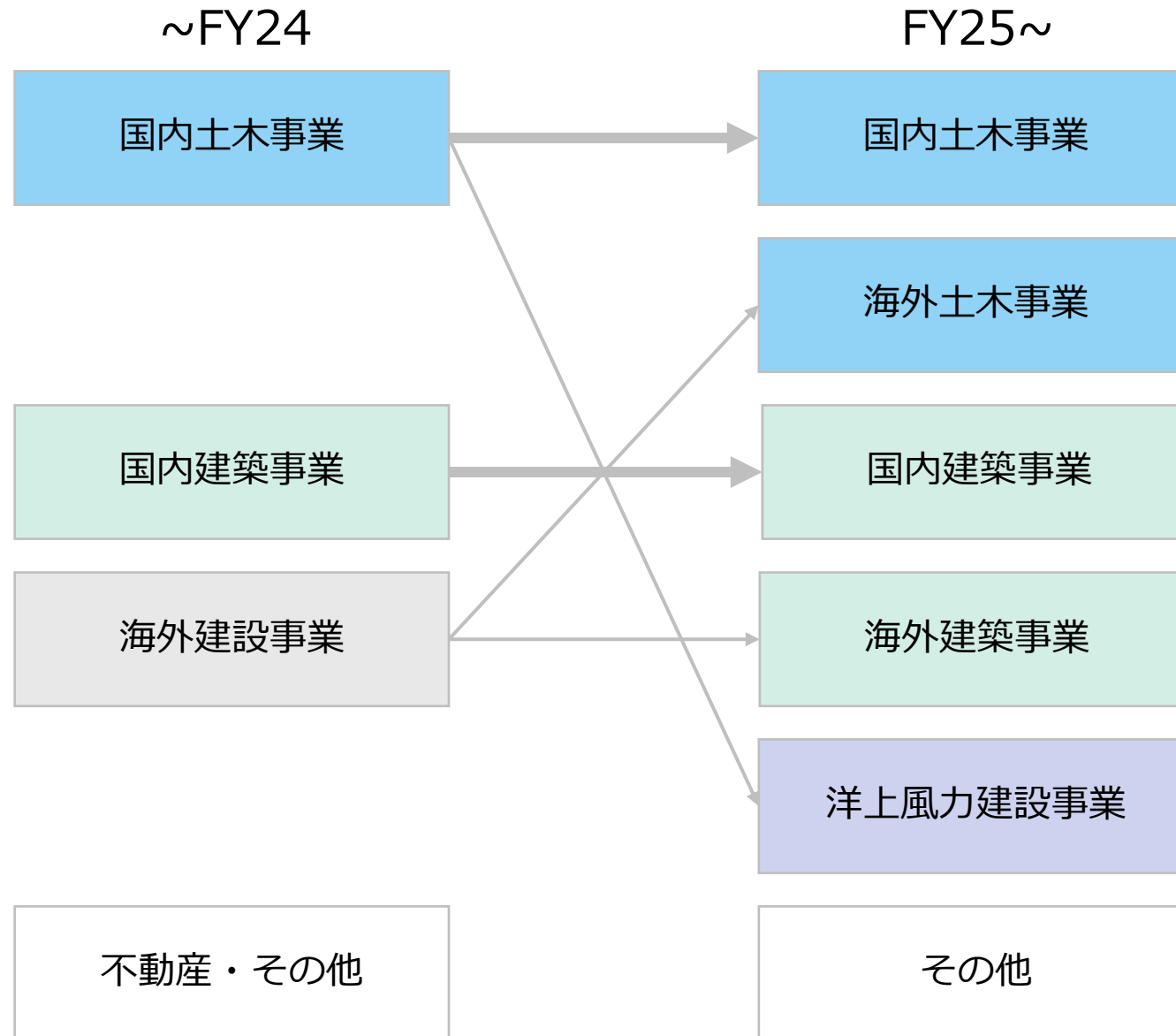
■ 資産売却による投下資本の圧縮（簿価の減少）



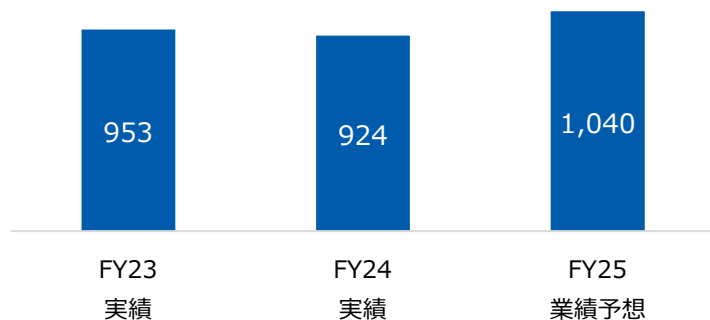
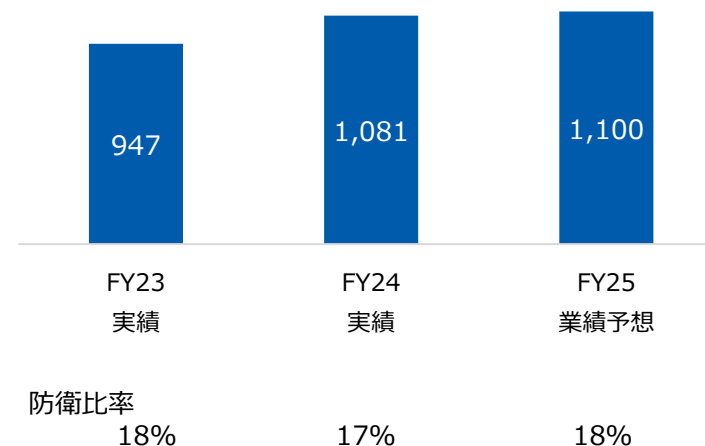
■ 当社の株主資本コストを約7%、加重平均資本コスト(WACC)を約6%と試算

3. 事業別の概況





(億円)

完成工事高営業利益受注高

FY24の実績：

- 完成工事高は、前年にあった大型工事に相当する規模の案件が当年度には無かったため、減収
- 営業利益は、上記工事の高い利益貢献が剥落し、減益

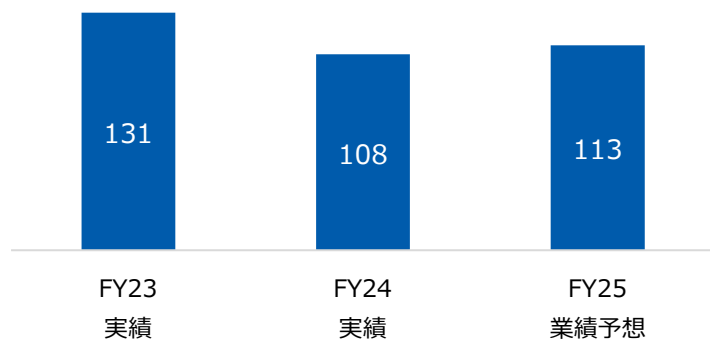
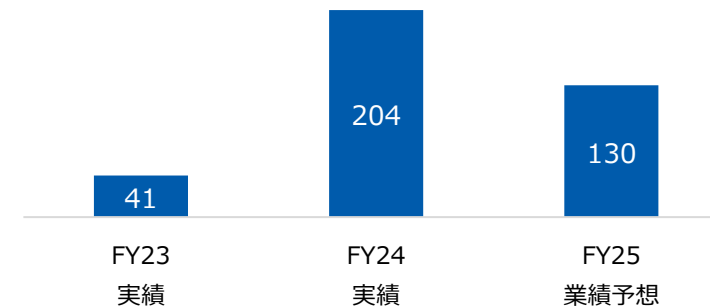
FY25の業績予想：

- 豊富な手持工事が進捗し、増収増益となる見込み
- 受注高は、国土強靱化、防衛関連およびグリーントランスフォーメーション (GX) 案件が期待できる
- 受注高における防衛関連の比率は10%台後半の見込み



当社が所有する自航式多目的船 August Explorerを稼働し、日本初の商用スケール大型潮流発電機（船上のタービン）の海中設置工事を、五島列島において実行

(億円)

完成工事高営業利益受注高

※ケニアODA案件の失注
フィリピンODA案件の開札遅れ

FY24の実績：

- 完成工事高は、フィリピンでの台風の影響で河川改修工事が中断したことにより、減収
- 営業利益は、減収影響の一方でフィリピンにおける年金資産の運用が好調であったことから、増益
- 受注高は、上記河川改修工事の新規分を獲得し、増加

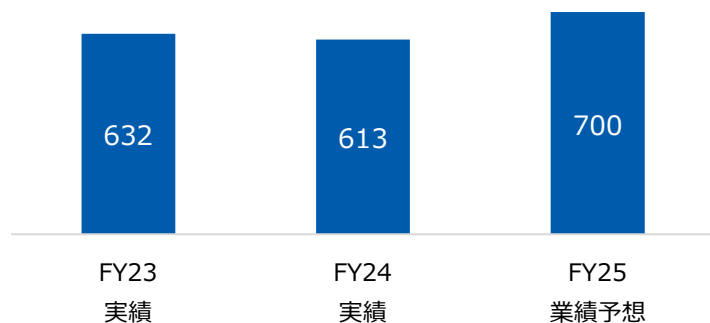
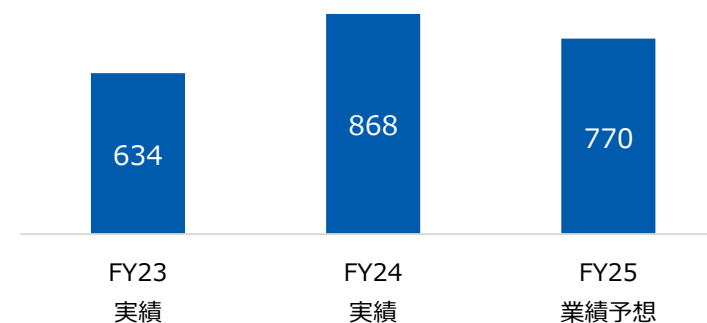
FY25の業績予想：

- 完成工事高は、2025年1月に着工した上記の新規河川改修工事が貢献し、増収
- 営業利益は、年金資産の影響が前年比で減少するため、減益
- 受注高は、大型ODA案件が見込めないため、減少



カガヤンデオロ河川改修事業

(億円)

完成工事高営業利益受注高

FY24の実績：

- 完成工事高は、施主様のご要望を丁寧に反映した一部の工事で進行が後ろ倒しとなったため、減収
- 営業利益は、設計施工段階での利益率向上を目指す取り組みの強化により、増益
- 受注高は、複数の大型案件の獲得により、増加

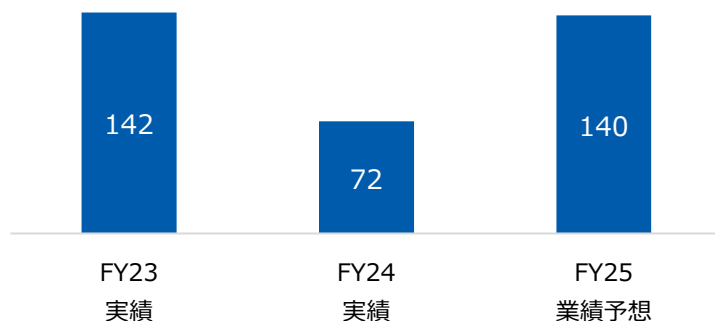
FY25の業績予想：

- 完成工事高は、豊富な手持工事が着工し、増収となる見込み
- 営業利益は、現時点では設計施工段階の改善分を含んでいないため、横這い
- 受注高は、確度が高い大型案件が前年対比では少ないため、減少



東京情報デザイン専門職大学

(億円)

完成工事高営業利益受注高

FY24の実績：

- 日本の製造業の海外進出・拡大先として他国の選定が多くなったこと、および、円安起因の国内回帰の影響により、2023年頃から日系企業のフィリピンへの進出にブレーキがかかった
- 当社（現地法人であるCCT）では、FY23に受注高が、FY24に完成工事高が落ち込んだ
- 現地企業からの受注獲得へのシフトを加速し、受注高は持ち直した

FY25の業績予想：

- 現地企業向けの営業活動が奏功し、増収および営業利益回復を見込む



ニュージーランドクリマリー貸倉庫（フィリピン）

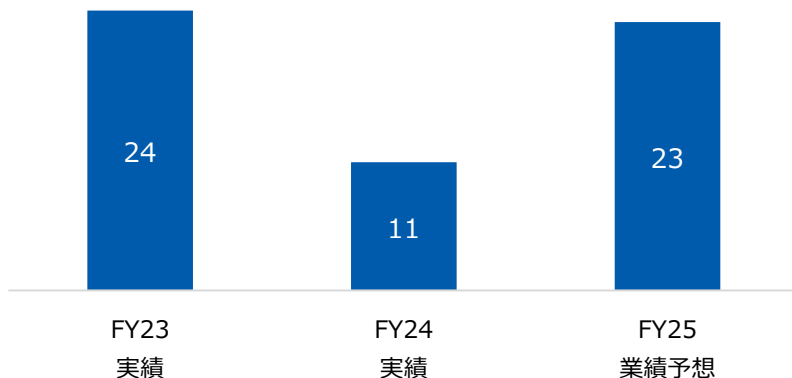
洋上風力建設事業への先行投資

新セグメントとして洋上風力建設事業を設置

FY27からの操業開始に向けてケーブル敷設船の建造が順調に進行中

先行投資費用

(億円)



うち、NEDOにより採択
された現地実証実験※
への参画費用
9

※国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）により、三井海洋開発株式会社、古河電気工業株式会社、株式会社JERAとともに採択されたグリーンイノベーション基金事業の一環である「TLP方式による浮体式洋上発電設備の開発」の実証試験2件のうち、当社が担当した分

■ 自航式ケーブル敷設船（Cable Laying Vessel）を建造中

- ・ 投資総額300億円（見込み）
- ・ 2025年6月に進水、2026年上期に完成、引き渡しの予定
- ・ 稼働時点では国内船籍で最大のCLVとなる

■ 大水深での大規模な施工が可能な国内初の（高機能）海底ケーブル埋設機を発注済み

- ・ 投資総額40億円（見込み）
- ・ 当社が培った技術を取り入れた独自の埋設機



建造中のケーブル敷設船

FY2025業績予想 まとめ

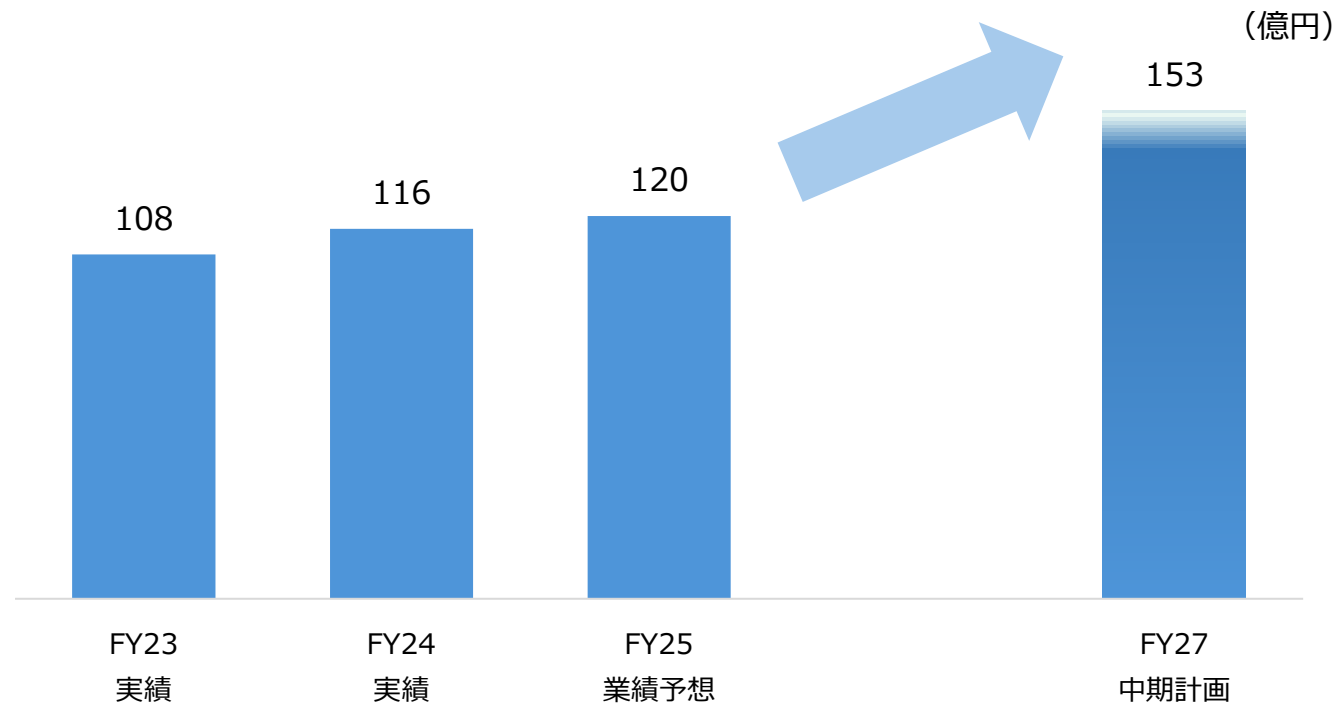
	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 業績予想	前年比 増減額	前年比 増減率	(億円または%)
売上高	1,867	1,726	2,000	+ 274	+16%	
完成工事高	1,858	1,718	1,993	+ 275	+16%	
国内土木	953	924	1,040	+ 116	+13%	
海外土木	131	108	113	+ 5	+5%	
国内建築	632	613	700	+ 87	+14%	
海外建築	142	72	140	+ 68	+94%	
洋上風力建設	—	—	—	—	—	
その他	8	7	7	+ 0	+0%	
営業利益	108	116	120	+ 4	+3%	
国内土木	87	65	82	+ 17	+26%	
海外土木	5	10	6	△ 4	△40%	
国内建築	29	44	44	+ 0	+0%	
海外建築	8	5	8	+ 3	+60%	
洋上風力建設	△ 24	△ 11	△ 23	△ 12	—	
その他	2	2	2	+ 0	+0%	
親会社株主に帰属する当期純利益	70	83	85	+ 2	+2%	
受注高	1,713	2,273	2,116	△ 157	△7%	
国内土木	947	1,081	1,100	+ 19	+2%	
海外土木	41	204	130	△ 74	△36%	
国内建築	634	868	770	△ 98	△11%	
海外建築	82	110	110	+ 0	+0%	
洋上風力建設	—	—	—	—	—	
その他	8	8	6	△ 2	△25%	

4.中期経営計画の進捗状況



中期経営計画の進捗（営業利益）

- 最重要の目標は、営業利益額の達成
- FY27には洋上風力建設事業の貢献を見込む



5. トピックス



トピックス#1 米国相互関税の影響

- 売上： 当社の米国向け売上は実績・予定ともに無し
- 調達： 当社が把握しているサプライチェーン内における米国製資機材の使用は実績・予定ともに無し
- その他、間接的に起こり得る当社への影響について調査を開始

トピックス#2 2025年1月～3月に受注した主な工事

	発注者	工事名
土木	国土交通省関東地方整備局	令和6年度 東京港中央防波堤外側地区岸壁(-16m)(耐震)築造工事（その2）
	国土交通省関東地方整備局	令和6年度 東京国際空港P誘導路他地盤改良工事
	国土交通省北陸地方整備局	金沢港(金石地区)防波堤(西)(改良)築造工事
	国土交通省中部地方整備局	令和6年度 名古屋港新土砂処分場埋立護岸基礎工事（その4）
	防衛省南関東防衛局	防大（6）屋外給排水整備土木工事
建築	野村不動産株式会社	（仮称）西千葉シニア住宅新築工事
	社会福祉法人日本心身	島田療育センター建替え整備事業 新病棟建設工事
	株式会社大同	（仮称）フレンドシップカントリークラブ 新築及び解体
	防衛省九州防衛局	築城(6)整備ショップ新設等建築その他工事
	防衛省九州防衛局	飯塚(6)庁舎新設等建築工事

ヒストリカルデータ FY22~FY24

FY22からFY24にかけての四半期（累計/ 3ヶ月）および年度の以下のデータを、当社IRウェブサイトに掲載

- 貸借対照表
- 損益計算書
- キャッシュフロー計算書
- セグメント情報
- 工種別 受注高、売上高、繰越高（東洋建設(株) 個別）
- 施主別 受注高、売上高、繰越高（東洋建設(株) 個別）
- 指標

https://www.toyo-const.co.jp/doc/ir/irnews/20250512_FY24Q4_historicaldata.xlsx



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。